

料金別納郵便



藤村州二 展 —啓蟄の茶陶と器—

令和5年3月5日(日)~10日(金) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時 (最終日10日は午後5時まで)

作家在廊日：会期中、全日在廊予定

陶歴 昭和40年 福岡県上野に生まれる
平成元年 西南学院大学卒業 半泥子の愛弟子の坪島土平に師事
平成25年 廣永窯 窯場責任者となる
令和4年 半泥子廣永窯から半泥子仙鶴窯への窯名変更と同時に独立
パリコレKENZOブランドに図案が採用される
新宿伊勢丹、大阪高島屋、J R名古屋高島屋 他、全国各地にて個展開催

先の師走の寒い一日、藤村州二さんと打ち合わせるため、久々に三重県の津に足を向けました。三重県の茶陶といえば、近代数寄者として名高い川喜田半泥子(かわきたはんていし)を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。藤村さんは、その半泥子の孫弟子にあたり、あと数年で還暦を迎える円熟の技がキラリと光る陶工です。

その作品は、美しい絵が描かれた赤絵や染付、美濃や唐津手といった作品が中心で、とりわけ、のびやかな絵付がほどこされた作品群は多くの愛陶家の心を掴んで離しません。描かれる題材は花鳥風月と多彩で、その絵は力強くもあり、でも儚くもあり、その確かな筆使いに、いつも私は心を踊らされます。

近年、KENZOのアーティスティック・ディレクターに就任したNIGO®様との貴重なご縁により、藤村作品の図案が描かれた新作コレクションが昨年のパリコレで発表され、私も本当に嬉しく感激でした。半泥子も、孫弟子の活躍に破顔している事でしょう。

本展では、最新作の茶陶や食の器など約100点を発表いたします。花月の一、藤村さん共々、皆様のご来廊をお待ち申し上げております。

店主 安田尚史

柿屋ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com

公式Instagram



お手間で恐縮ですが、弊廊ホームページや公式SNSにて、最新情報をご確認頂ければ助かります。

